



NEWS RELEASE CARE International Japan ケア・インターナショナル ジャパン

ガーナにおける栄養不足の改善を目的とした 「BOP ビジネス」のモデル構築に向けて 味の素株式会社と連携

[2010年11月8日]

公益財団法人ケア・インターナショナル ジャパン(理事長:数原孝憲 事務局:東京都豊島区雑司が谷)は、ガーナにおける貧困層の栄養改善を目的とした「BOP ビジネス」のモデル構築にあたり、味の素株式会社と共同で取り組むことで合意に至りました。

これまで味の素株式会社は、ガーナ大学、INF(International Nutrition Foundation)と共に、ガーナにおける貧困層、特に離乳期(生後6ヶ月から24ヶ月)の子どもの栄養改善を目的として、コーン等をベースとした現地の伝統的食品Koko(ココ)に添加する<栄養強化食品>の開発を進めて参りました。

同社が<栄養強化食品>の開発において連携するオランダのライフサイエンス企業・DSM社(Royal DSM N.V.)によると、「特に、妊娠時から子供が2歳になるまでの期間が栄養不足の影響が最も深刻な時期である。」とされ、「適切な栄養を与えることが、病気感染を防ぎ、エネルギーの利用を効率的にし、適正な成長を実現することになります。子供は初期の段階で適切な栄養を与えられないと、生涯、精神的、肉体的成長の可能性を奪われることになってしまいます。栄養不足を解決するためのプログラムは良く計画され、注意深くモニターされる必要があります。かつ、食事に不足している全ての必須微量栄養素を与えるようにしなければなりません。良い計画と適切に管理された食品の栄養強化は、栄養不足を持続可能な形で解決する最も経済的な方法の一つです。」としています。

この度、味の素株式会社が開発中の<栄養強化食品>の現地コミュニティにおける受容性や流通・販売の可能性等についての具体的な調査実施に向けて、ガーナにおいて、貧困女性の小規模起業家育成(収入向上)をはじめ、教育、保健衛生、環境など多岐にわたる取り組みで実績を上げ、住民と強固な信頼関係を築いている「CARE ガーナ」と連携するにあたり、日本の窓口となる公益財団法人ケア・インターナショナル ジャパンと正式に覚書を交わしました。

味の素株式会社は 2010 年度中に栄養サプリメントの開発、マーケット調査などを終え、2011 年度には、試作品を用いた効果確認試験、テスト販売を実施する予定です。また 2012 年度以降は、ガーナで本格生産、販売を実施。ビジネスモデルの確立を目指しています。

この共同の取り組みを通して、公益財団法人ケア・インターナショナル ジャパンと味の素株式会社は、地域の乳幼児の栄養問題を改善し、共にミレニアム開発目標に貢献していきたいと考えています。

上記リリースに関するお問い合わせ先

公益財団法人ケア・インターナショナル ジャパン
マーケティング部 高木

〒171-0032 東京都豊島区雑司が谷 2-3-2

Tel: 03-5950-1335 Fax: 03-5950-1375

E-mail : m.takaki@careintjp.org URL : www.careintjp.org

参考資料

「BOPビジネス」とは

当財団では「BOPビジネス」を以下の通り定義しています。

「BOP 層が抱える様々な社会的課題を解決するための持続可能なビジネス。利益最大化を最優先としないという点で、単に BOP 層を対象とするビジネスとは一線を画す。中長期的な戦略の上に立ち、BOP ペナルティ解消や生活の質の向上、さらには新たな雇用創出による貧困削減等に資するビジネスモデルを指す。既存コミュニティにおける格差や不平等を助長したり、人権や環境等を侵害することがないよう特段の配慮を必要とする。」

国際協力 NGO「CARE」について (<http://www.care-international.org/>)

CARE は、アジア、アフリカ、中東、中南米など世界 70 カ国以上の途上国や紛争地域において人道支援活動を行う世界最大級の NGO です。1945 年の設立以来、災害時の人道支援を行うとともに、「女性や子ども」に焦点をあてた活動を通して、最も困難な状況にある人々の自立を支援しています。

また CARE は、1994 年よりガーナでの活動を開始。貧困削減を目標に、特にガーナ北部において農業や自然資源関連の活動に力を入れると共に、HIV/エイズ、保健、女子教育、小規模起業家育成(収入向上)など、多岐に渡るプロジェクトを展開しています。

公益財団法人ケア・インターナショナル ジャパンについて (<http://www.careintjp.org/>)

第二次世界大戦後、CARE による支援を受けた日本でしたが、今度は世界で貧困に苦しむ人々の助けになろうと、1987 年、CARE の日本事務局として当財団が発足しました。2010 年 2 月には、内閣府より国際 NGO として初めて公益認定を受け、現在は公益財団法人として活動を行っています。

以上